

中島幸三郎

（中島幸三郎）

小説家。明治二十六年福岡縣生れ（一九三二）。

號鈍魚庵。

雑誌『九州文學』同人。處女作『日本甲斐』を同誌に發表。

北京留學六年餘。小説の他鐵道關係讀物があり、その記録文學執筆の

専念。

著書『甘露臺の女人』（昭和二十一年四月二十日福岡・あけぼの社）、

『新編水滸傳（桃花の巻）』（昭和二十二年六月二十日徳和書房）、

『風雲兒・十河信一傳』（昭和三十年十月十日交通世論社）、『歌の

旅行案内―鉄道唱歌の作者をめぐる人々』（昭和二十二年四月五日日

本交通文化協会）、『鉄道唱歌物語―歌の旅行案内』の生誕と作者

をめぐる人間哀史』（昭和二十九年五月十五日、のち七月十一日交通

日本社『交白新書』）、『タコ部屋残酷物語―鉄道建設をめぐる人間

虐殺の裁判記録から』（昭和二十九年七月十五日交通日本社『交白新

書』）、『野望・乞食安右と門』全五冊（昭和四十年十月二十日埼玉・

鈍魚庵書房）、『新疆砂漠脱走記―第3次世界大戦の科学的予言書』

全二冊（上・赤い狼、下・黒い鷲）（昭和四十一年二月五日ヤシヤ経済研究所）、『汽

笛―寺新橋を―決定版。鉄道唱歌物

語』（昭和四十一年八月十日佑啓

社）等。

